

令和 8 年度 学校図書館活用計画・評価シート

足立区立島根小学校 校長 世取山 哲哉

1 学校教育目標

- ①考える子：様々な問題を解決するために多様な考えをもてる子
- ②心豊かな子：よりよい生活を目指して相手を尊重し、助け合う子
- ③たくましい子：困難に直面してもあきらめず、より高い目標に向かい努力し続ける心と体をもつ子

2 学校図書館3つの役割について

重点取組 (◎)	読書センター	学習センター	情報センター
現状の課題	・本を自ら読む児童が少ない。 ・中・高学年になると、本を借りる機会が少ない。	・図書館にある資料を用いて、調べる学習をしている回数が少ない。	・0～2類の蔵書が少ない。 ・児童自らが資料を探して調べる機会が少ない。
今年度の目標	全校で昨年より貸出冊数が増えるようにする。	・全学年年間5回以上は図書館の資料を用いて、調べる活動を行う。	・蔵書を見直し、0～2類の割合を考慮し、選書を行う。 ・自分で必要な資料を探し、調べることができる。
重点取組	・各学年年間目標冊数を決め、達した児童には年度末賞状を渡す。 ・年間目標冊数に達成することができるよう、毎月の貸出冊数を決める。 ・毎月全クラスの貸出冊数を集計し、どのくらい貸出しているか視覚的に分かりやすくする。	・1・2年生は図書の時間以外にも活用する。 ・中・高学年は図書の時間は確保されていないが、空き時間を活用して行う。	・オリエンテーションを全クラス行い、分類場所を把握させる。 ・児童が使いやすい図書館にするために、図書館支援員に整備をお願いする。 ・様々な資料に触れられるよう、資料を増やす。
成果目標 (達成基準)	・児童一人あたりの年間貸出冊数 120冊	・図書館資料年間活用数(全クラス) 5回以上	・オリエンテーションを全クラス実施する。 ・図書館支援員と相談しながら、使いやすい図書館を運営する。
達成状況 (年度末に記載)			

3 図書館運営計画

	読書センター	学習センター	情報センター
日常的な取り組み	・各学級読書時間の確保 ・図書の年間活用計画を周知する。	・図書の年間活用計画を周知する。 ・年度末に活用した単元を報告する。	・選書・廃棄の計画
主な行事の取り組み (図書委員会含む)	・読書旬年間2回 ・教員による読み聞かせ(年2回) ・図書委員会イベント(大型本読み聞かせ、福袋等)	・校内研修で調べる学習のまとめ方について扱う。 ・中・高学年は夏休み前に調べる学習のまとめ方について学習する。	・オリエンテーション
環境整備の取り組み	・展示や掲示の計画	・授業展開するための整備 (ホワイトボード、モニター等)	・使いやすい図書館にするための整備計画
司書・外部との連携	・図書館支援員に掲示、展示の仕方を依頼、相談する。 ・各月の貸出冊数の把握	・授業者との連携 ・SLSに研修会の依頼	・オリエンテーション依頼 ・選書・廃棄の依頼 ・資料の展示依頼

実践の評価 (年度末に記載)

--	--	--	--

4 学校図書館を使った「調べる学習」計画 (国語及び他教科)

学年・専科	内容 (教科「単元名」)	結果	内容 (教科「単元名」)	結果

1年	国語「どうぶつの赤ちゃん」		生活「みんななかよくなろうね小さなともだち」	
2年	国語「お気に入りの本のしょうかいをしよう」		生活「めざせ生き物はかせ」	
3年	国語「すがたをかえる大豆」		社会「農家のしごと」	
4年	国語「未来につなぐ工芸品」		総合「未来予想図」	
5年	国語「みんなが使いやすいデザイン」		理科「流れる水のはたらき」	
6年	国語「デジタル機器と私たち」		総合「SDGsについて調べよう」	

追記および実践の評価（年度末に記載）

--

5 学校図書館全体に関する自校の取り組みの評価（年度末に記載）

--

※各校作成の令和8年度「学校図書館年間計画」の添付をお願いします。